

非常上告ニ關スル上申書

上申ノ趣旨

昭和八年六月三日、高松地方裁判所ニ於テ山本雪太郎、久本米一ニ係ル結婚誘拐被告事件ニ付、山本雪太郎二十ヶ月、久本米一ニ一年ノ懲役ヲ首渡シタル確定判決ニ對シ、上申人ハ檢事總長ヨリ速ニ非常上告ヲ申立テル事ヲ要求スル。

理由

上申ノ趣旨ニ摘示シタル山本雪太郎、久本米一ニ係ル確定判決ノ結婚誘拐罪構成主要事實トシテ認定セラレタル被告兩名ノ犯罪行為ハ一被告兩名ハ異父ハ兄弟ニシテ、香川縣香川郡鷺村大字馬場ニ出生シ且ツ現ニ同所ニ居住スル特殊部落民タルニカ、ハラス、ハハ特殊部落民タル身分ヲ告知スルニ於テハ、被告米一ハ申込ミタル結婚ハ合意承諾セザルベキ同縣仲多度郡四條村字川瀧番地不詳石原新太郎長女石原政江ニ對シ被告米一ハ特殊部落民タル事ヲ告知セス、右政

江ヲシテ被告米一ハ結婚申込ニ合意承諾セシムタルモハナリトイフ事ニナツテ居ル。

然レドモ、上申人ハ現行結婚關係民刑一切ノ諸法規ニ徴シ、前示確定判決ニ於テ結婚誘拐罪構成主要事實トシテ認定セラレタル一特殊部落民ノ身分不告知ハ、次ノ理由ニ依リ、被告山本雪太郎、同久本米一ニ民事刑事事トモ何等ノ法律的責任ヲ生ズベキ理由ガナイモノト確信スル。

(1) 結婚誘拐罪ノ本質ハ、結婚ノ申込ニ對スル合意承諾ヲ自由ニ決定スベキ相手方ヲシテ錯誤ニヨル合意承諾ヲ決定セシムル詐欺行為ダトイフ事ニ、學說、判例ガ一致シ、學者ハ一般ノ營利誘拐罪ニツイテサヘ

一此ノ誘拐手段トハ、詐術又ハ詐言、少クトモ、甘言ヲ指稱スルモノデアツテ、シタガツテ詐術、詐言乃至ハ甘言ナル積極的ナ作為ニヨル誘惑手段(不作爲ニ基ク誘惑手段ナルモノナシ。誘惑ト